


授業実践

(イ) 第2時：学習目標：循環型社会について考える。

《ALの視点》 主：主体的な学び 対：対話的な学び 深：深い学び

学習活動	形態	教師の支援と手立て	評価と方法
1 前時の授業を振り返る。	斉	○前時の学習を振り返らせた。	
<p>本時のめあて：私たちは、どのような消費社会をつくっていく必要があるのだろう。</p>			
<p>2 衣服の大量消費・大量廃棄（使い捨て）をしてしまう消費者の心理を考える。 「なぜ、私たち消費者は大量消費・大量廃棄をしてしまうのだろう」</p> <div data-bbox="207 801 598 1019" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p style="text-align: center;">買いたくなる原因</p> <p style="text-align: center;">安さ 便利さ 流行・宣伝効果</p> <p>必要だから買う (ないと困る)      欲しいから買う (なくても困らない)</p> <p style="text-align: center;">これを どうとらえるか？</p> </div> <p>&lt;プレゼンテーションソフト資料&gt;</p>	個 ↓ 斉	<p>&lt;生徒から出た考え&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・安く手に入る。</li> <li>・よく考えずに買っている。</li> <li>・成長期だから服が小さくなる。</li> </ul> <p>○「安さ」「便利さ」「流行」に加え、「宣伝効果」についても触れ、実際の生活を近付けさせた。</p> <p>○「必要」と「欲しい」の違いを意識させた。</p> <p>○机間指導を行う場合は、できるだけ本音の部分を引き出せるよう声を掛けるようにした。</p>	
<p>3 循環型社会について考える。 「大量消費・大量廃棄の社会に対し、どのような解決方法があるだろう。－どうすれば、ごみを増やさないですむだろう。－」</p>	個 ↓ G ↓ 斉	<p>&lt;生徒から出た考え&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・買う前に本当にいるか考える。</li> <li>・試着をして買う。      ・バザーに出す。</li> <li>・フリーマーケットに出す。      ・あげる。</li> <li>・最後まで使う。      ・再利用する。</li> <li>・リデュース      ・リフューズ</li> <li>・リユース      ・リサイクル</li> </ul> <p>○生徒から出た考えを4Rと関連付けさせた（小学校社会科の既習内容）</p> <div data-bbox="742 1617 1295 1870" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;">  </div> <p>&lt;出された意見と4Rを関連させているところ&gt;</p>	
	個 ↓ 斉	○リサイクルの実態について、資料を	循環型社会に

<p>4 本時の学習を振り返る。</p> <p>●循環型社会について理解する。</p>	<p>斉</p>	<p>基に具体的に理解させた。</p> <p>&lt;生徒から出た家族にも伝えたいこと&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・衣服のリサイクル率は10%しかない。</li> <li>・大量廃棄はよくない。</li> <li>・別の物に作り変える。</li> <li>・今の生活を続けていると石油は後40年で無くなる。</li> <li>・服は買う前によく考える。</li> <li>・今買っていいか考えることが大切。</li> </ul>	<p>ついて理解している。【知識・理解】(ワークシート)</p>
<p>5 次時の学習の見通しをもつ。</p>		<p>○今日の学習で、家族にも伝えたいことを整理させることで、自分や家族の生活と関連させて考えるようにした。</p>	

技術・家庭科ワークシート「身近な消費生活と環境②」

( 1 班 ):メンバー ( )

2. 大量消費・大量廃棄(使い捨て)に対して、どのような解決方法があるだろうか。

どうすれば、ごみ(ごみになるもの)を増やさないで済むだろうか。

洋服は切って  
どうしなどに使う。

親せきや兄弟に  
あげる。

再利用する

再利用をすすめる

ほかの人にあげ  
る。

フリママーケット  
で売る。

ネットでする。

再利用

考える

必ず使う物だけを  
買う。

できるだけ新しいものを  
買わない。

最後まで使う

技術・家庭科ワークシート「身近な消費生活と環境②」

( 2 班 ):メンバー ( )

2. 大量消費・大量廃棄(使い捨て)に対して、どのような解決方法があるだろうか。

どうすれば、ごみ(ごみになるもの)を増やさないで済むだろうか。

買わない物をおかない。

思いきって買う

買う前に考える

自分に合っていない物は  
誰かにおくる。

必要かどうかわからない物は  
先に見て行動する。

あげる

3R

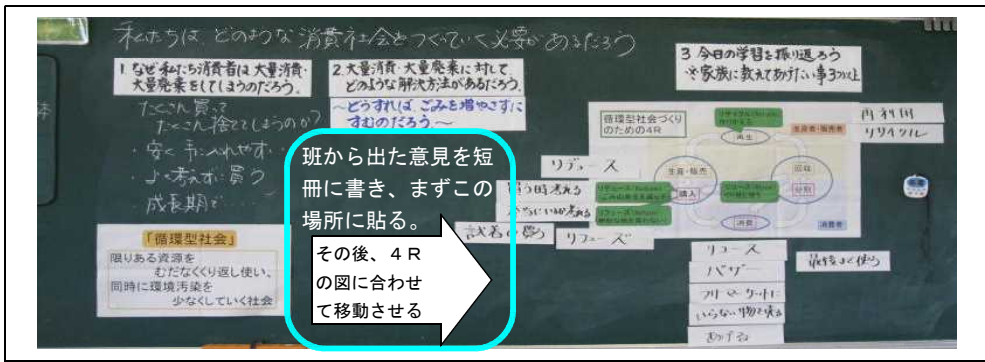
リユース

リデュース

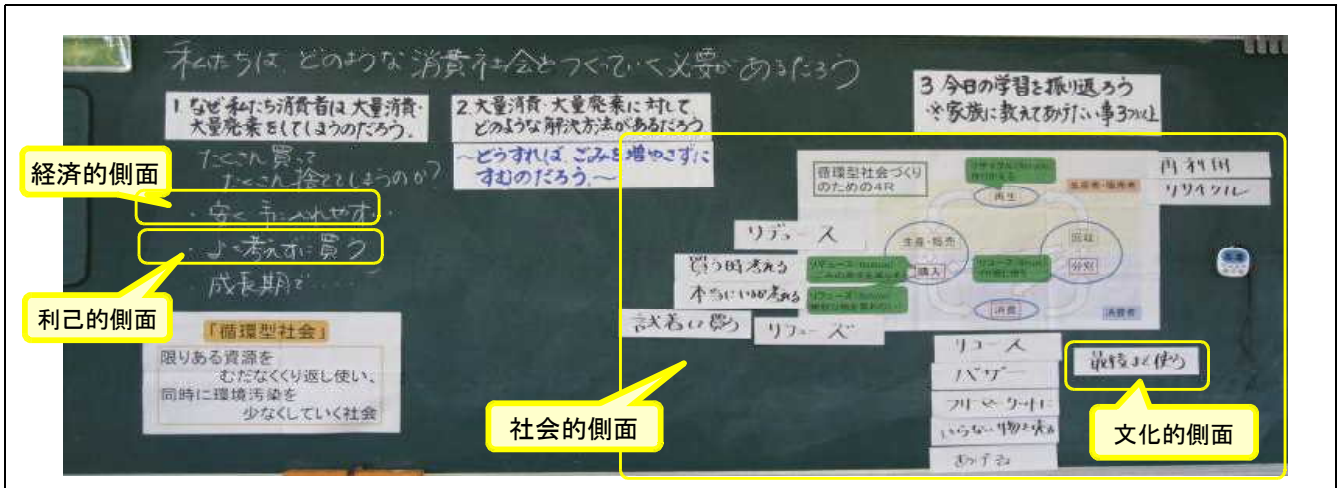
リサイクル

使わなくなったら服は種の中に入れて捨てる。

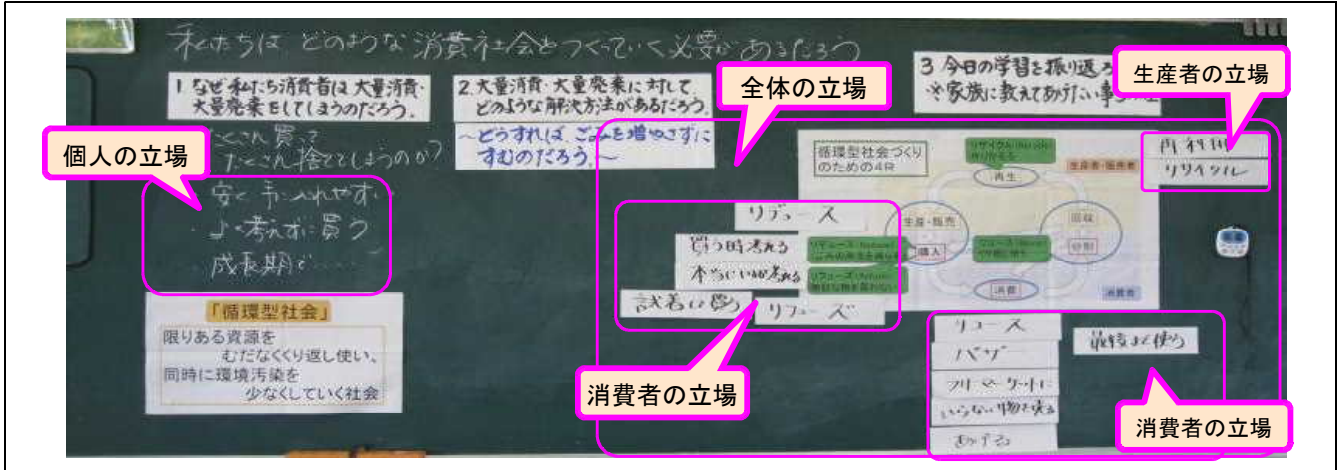
資料1 2時目の話し合い活動で使った台紙



資料2 2時目板書



資料3 生徒から出た多面的な見方（2時目板書）



資料4 生徒から出た多角的な見方（2時目板書）

- 1 個人で考える・・・ワークシートに記入
- 2 班で考える
  - ①ふせん(2枚ずつ)に書く。
  - ②1人ずつ読みながら、班の台紙に貼る(上)。  
☆じゃんけんで勝った人から時計回りに
  - ③班で出した意見を似たもの同士グループ分けして、名前を付ける。
- 3 代表が班で出した意見を発表する

資料5 2時目の話し合いの進め方(プレゼンテーションソフト資料)